

厚生労働省が、令和 8 (2026)年度人口動態統計特殊報告

「日本における人口動態（昭和 30～令和 6 (1955～2024)年）-外国人を含む人口動態-」の概況を公表しました（2026 年 8 月 7 日）

厚生労働省 HP

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyu/gaikoku26/index.html>

概況版

https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyu/gaikoku26/dl/gaikyo_r08.pdf

<概要>

令和 8 (2026)年度人口動態統計特殊報告「日本における人口動態（昭和 30～令和 6 (1955～2024)年）－外国人を含む人口動態統計－」は、日本において発生した人口動態事象について、外国人を含めて取りまとめたものである。

この「日本における人口動態－外国人を含む人口動態統計－」は、平成 14(2002)年度、平成 19(2007)年度、平成 26(2014)年度に続いて今回で 4 回目であり、**日本における外国人の事象を、従来からの日本における日本人の人口動態統計に合わせて集計しているものである。**

<結果の概要>

○出生数

- ・日本における外国人を含む出生数（出生総数）は、70 万 9051 人となっており、うち「日本における外国人」は 2 万 2878 人で出生総数の 3.2%を占めている。
- ・10 年前の平成 26（2014）年と比べると、出生総数では 30 万 9555 人減少し、「日本における外国人」の構成割合は 1.8 ポイント増加した。
- ・「少なくとも父母の一方が外国人」は、10 年前と比べると 3743 人増加し 3 万 8389 人となっており、出生総数の 5.4%を占めている。

○死亡数

- ・日本における外国人を含む死亡数（死亡総数）は、161 万 4706 人となっており、うち「日本における外国人」は 9328 人で死亡総数の 0.6%を占めている。
- ・10 年前と比べると、死亡総数では 33 万 4930 人増加し、「日本における外国人」の構成割合は 0.1 ポイント増加した。

○死産数

- ・日本における外国人を含む死産数（死産総数）は、1 万 5996 胎となっており、うち「日本における外国人」は 673 胎で死産総数の 4.2%を占めている。
- ・10 年前と比べると、死産総数では 7950 胎減少し、「日本における外国人」の構成割合は 2.5 ポイント増加した。